

公益財団法人福田靖子賞基金

活動のあゆみ



概要

ごあいさつ



公益財団法人福田靖子賞基金 理事長

福田成康

福田靖子賞基金にご寄付いただいた皆様、これまでにご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

もともと「福田靖子賞」は、本人の遺産 3,000 万円を十代の若いピアニストに海外に出て研鑽を積むために使ってもらいたいという願いのもとでスタートしたものですが、助成活動を始めてみると、大変ありがたいことに、サポートの足しにしてほしいとご寄付を申し出てくださる方が多く現れ、財団化することを決めました。

その後は、ご寄付を存分に活用させていただきながら、加藤事務局長の精力的な活動もあり、単なる奨学金の域を超えて、アカデミー、あるいはスポーツ業界でいう「日本ジュニア選抜」のような活動になってきています。福田靖子本人が生きていたら、どんなに喜んだことでしょう。

日本のピアノジュニアたちが世界を舞台に活躍し、「音楽を勉強してきて良かった」と思える人生を送りながら、日本の音楽文化を豊かにする人材に成長することを願い、引き続き皆様とともに奨学生の努力を応援していきたいと思います。

財団概要

名 称 公益財団法人福田靖子賞基金 (The Yasuko Fukuda Scholarship Foundation)

目 的 才能ある若いピアニストに国際経験を積ませ、成長をうながすこと

主な活動 (1) 福田靖子賞選考会の実施

(2) 海外教授によるマスタークラスの実施

(3) ピアニスト育成に関する助成事業

設 立 2010 年 11 月 10 日 (福田靖子 10 回目の命日)

公益財団認定

2011 年 12 月 15 日 (設立時より税額控除対象団体の日程を受け、現在に至る)

組 織

理事長	福田 成康	株式会社東音企画 代表取締役
理事	梅津 時比古	桐朋学園大学学長、毎日新聞社客員特別編集委員
理事	加藤 哲礼	一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 理事・育英広報室長
理事	神代 浩	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 監事
理事	西巻 正史	株式会社トップホール 取締役 企画制作担当
理事	二瓶 純一	株式会社ジャパン・アーツ 代表取締役 社長
監事	堀 明久	一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 理事・組織運営室長
評議員	江口 文子	昭和音楽大学 教授
評議員	二宮 裕子	桐朋学園大学 特命教授
評議員	播本 枝未子	東京音楽大学 客員教授
評議員	松崎 伶子	平成音楽大学 教授、洗足学園大学 名誉教授



※肩書きは 2020 年 2 月現在

沿革

2001年11月 社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）創設者 福田靖子 永眠（11月10日）



2002年5月 「福田靖子賞基金」銀行口座開設

2002年7月 松崎伶子先生より寄付金第一号

2003年8月 第1回福田靖子賞選考会を実施（主催：社団法人全日本ピアノ指導者協会）

レッスン：東邦音楽大学 新大塚キャンパス

最終審査会：台東区生涯学習センター ミレニアムホール

※以降、隔年で選考会を開催

2005年8月 第2回福田靖子賞選考会を実施

レッスン：東邦音楽大学 新大塚キャンパス

最終審査会：王子ホール



2006年10月 「福田靖子賞フォローアップレッスン」を初めて実施（ジャック・ルヴィエ教授）

2007年6月 アレクサンダー恵子先生の協力により

バンクーバーで酒井有彩さんのコンサートを開催

※選考会基金の助成による海外渡航補助が始まる



2007年8月 第3回福田靖子賞選考会を実施

レッスン：東邦音楽大学 新大塚キャンパス

最終審査会：Hakuju Hall

2009年8月 第4回福田靖子賞選考会を実施

レッスン：東邦音楽大学 新大塚キャンパス

最終審査会：Hakuju Hall

2010年11月 一般財団法人福田靖子賞基金を設立（11月10日）



2011年4月 福田靖子賞選考会の主催がピティナから移管

2011年8月 第5回福田靖子賞選考会を実施

レッスン：上野学園大学

最終審査会：上野学園大学 石橋メモリアルホール

2011年12月 内閣府より公益財団法人に認可される（12月15日）



2013年8月 第6回福田靖子賞選考会を実施

レッスン：昭和音楽大学

最終審査会：台東区生涯学習センター ミレニアムホール

2013年11月 福田靖子十三回忌記念 追悼サロンコンサート実施



2013年12月 全日本学生音楽コンクールピアノ部門中学の部に「福田靖子賞」を授与開始

2014年8月 ピティナ・ピアノコンペティションJr.G級に「福田靖子賞」を授与開始

2015年1月 マスタークラス企画が累計50回を突破

2015年8月 第7回福田靖子賞選考会を実施

レッスン：桐朋学園大学調布キャンパス

最終審査会：台東区生涯学習センター ミレニアムホール

2017年8月 第8回福田靖子賞選考会を実施

レッスン：昭和音楽大学

最終審査会：昭和音楽大学 ユリホール



2018年8月 マスタークラス企画が累計100回を突破

2019年8月 第9回福田靖子賞選考会を実施

レッスン：桐朋学園大学仙川キャンパス

最終審査会：かつしかシンフォニーヒルズアイリスホール

財団の活動 1

福田靖子賞選考会

財団の活動の中心をなす「福田靖子賞選考会」は、2003 年に、社団法人全日本ピアノ指導者協会（当時）の主催で始まり、以後、2 年に一度開催されています。選考会は、書類選考により選ばれた高校生以下の 9 名の優れた学生が、海外招聘審査員 3 名の総当たりのレッスンを受けたのちに演奏会形式の審査を行うユニークなオーディションで、書類選考で選ばれた 9 名全員が当財団奨学生としてその後のサポートを受けることができます。海外招聘審査員には、指導・審査・演奏において国際舞台の第一線に立って現役で活躍する一流の音楽家を招聘し、単なる審査会に終始しない「音楽体験」の場を提供します。歴代の入賞者・参加者は、国内外のコンクールで高い評価を得、国際的なステージで活躍しています。



第 9 回

これまでの招聘審査員・入賞者・入選者

第 9 回 (2019 年度)

【海外招聘審査員】ダグ・アシャツ、ブルース・ブルー
ペイカー、エヴァ・クビエツ
【入賞者・入選者】福田靖子賞：亀井聖矢／第 2 位：
神原雅治、八木大輔／第 3 位：中瀬智哉／入選
岸本隆之介、国本奈々、須藤帆香、山崎夢叶、渡辺康
太郎

第 8 回 (2017 年度)

【海外招聘審査員】ジェイムズ・アナグノン、オルタ
ンス・カルティエ＝ブレッソン、ヘンリ・シーグフリー
ドソン
【入賞者・入選者】福田靖子賞：森本隼太／第 2 位：
谷昂登／第 3 位：桂田康紀、村上智則／入選：片山響、
進藤実優、吉原佳奈、渡邊さくら

第 7 回 (2015 年度)

【海外招聘審査員】ヤン・イラチエク・フォン・アルニム、
スタニスラフ・ユデニッチ、マイケル・ルーア
【入賞者・入選者】福田靖子賞：黒木雪音・古海行子（第
2 位なし）／第 3 位：三上結衣／第 4 位：沢田蒼梧／
入選：太田糸音、田中英純、長澤優花、平間今日志郎、
渡邊景人

第 6 回 (2013 年度)

【海外招聘審査員】ロナン・オホラ、ボリス・ペトルシャ
ンスキー、ジェローム・ローズ
【入賞者・入選者】福田靖子賞：山崎亮汰／優秀賞：
桑原志織／奨励賞：小林海都、東海林茉奈／入選：
尾崎未空、尾城杏奈、杉本沙織、中村優似、平間今
日志郎

第 5 回 (2011 年度)

【海外招聘審査員】アレキサンダー・プラギンスキー、
ウイリアム・グラント・ナボレ、カタジーナ・ボボヴァ＝ズイ
ドロン
【入賞者・入選者】福田靖子賞：小林愛実／優秀賞：
尾崎未空、本山麻優子／入選：太田沙耶、小嶋穂、
佐藤元洋、中川真耶加、久末航、水本明莉

第 4 回 (2009 年度)

【海外招聘審査員】ホアキン・ソリ亞ーノ、ニコライ・
ペトロフ、ディーナ・ヨッフェ
【入賞者・入選者】福田靖子賞：阪田知樹／優秀賞：
中村芙悠子／奨励賞：生熊茜、木村友梨香、久保山
菜摘／入選：大貫瑞季、小竹島紗子、佐藤元洋、横
山瑠佳

第 3 回 (2007 年度)

【海外招聘審査員】ミハイル・ヴォスクレセンスキー、
ドミニク・メルレ、ビオトル・パレチニ
【入賞者・入選者】福田靖子賞：ロ一磨秀／優秀賞：
第 1 席：實川風、第 2 席：山田真琳／奨励賞：小塙
真愛／入選：生熊茜、片田愛理、佐藤元洋、鈴木美祐、
水谷桃子

第 2 回 (2005 年度)

【海外招聘審査員】ジョン・オコーナー、リー・カムシン、
ジャック・ルヴィエ
【入賞者・入選者】福田靖子賞：須藤梨菜／優秀賞：
第 1 席：崎谷明弘、第 2 席：酒井有彩／奨励賞：尾
崎有飛／入選：岡安咲耶、栗原麻樹、實川風、鯛中
卓也、日置ひと美

第 1 回 (2005 年度)

【海外招聘審査員】アンドレイ・ビサレフ、ポール・ボ
ライ、ブルーノ・リグット
【入賞者・入選者】福田靖子賞：関本昌平／福田靖子
賞準賞：田村響／奨励賞：實川風／ベストレッスン賞：
津島圭佑／入選：石村純、尾崎有飛、小林侑奈、野牧愛、
森田英里奈



第 1 回



第 2 回



第 3 回



第 4 回



第 5 回



第 6 回



第 7 回



第 8 回

福田靖子賞選考会のしくみ～ユニークな選考過程

福田靖子賞選考会は、国内のオーディションでは他に見られないユニークな選考過程を採用しています。それは、海外招聘審査員3名が、書類選考通過者9名を総当たりでレッスンするというアカデミーのような2日間を経て、コンクール形式のオーディションを行うものです。単なる順位付けの大会ではなく、選考過程そのものが学びに満ちているように設計しており、この形式は第1回のマスタークラス講師でもあるジャック・ルヴィエ教授のアイデアに端を発しています。

第一段階 書類選考

コンクールの1回きりの結果ではなく、継続的に挑戦し、努力し続けているかどうかを確認します。また、なぜ音楽の道に進みたいのか、音楽家としてどうありたいのか、志望理由の作文も重視しています。毎回、高い志を持つ中高生40名以上の応募があり、選考委員による厳正な選考の結果、奨学生9名を決定します。この9名は、この後の選考会の結果に関わらず、当財団奨学生として継続的にサポートをしていきます。



第二段階 レッスン(2日間)

3名の世界レベルの海外招聘教授・ピアニストが、9名の奨学生全員に1時間ずつの指導を行います。中高生のうちに、世界トップクラスの指導を受けることで、音楽を勉強することの面白さと奥深さを体感し、これから学習の動機としていただくことを目的としています。また、ピアノ指導者・学習者にもこのレッスンを公開し、日本のピアノ教育のレベルアップの一助となることも願っています。



第三段階 オーディション

レッスンの後1日置いて、9名の奨学生が、30分ずつのプログラムを演奏し、レッスンの成果を披露します。コンクール形式ですが、海外招聘審査員は、短い期間で生徒たちがどのように指導を吸収し、本番に向けて消化したかとも評価の対象とします。

第1位福田靖子賞受賞者には、奨学金100万円が贈られるほか、毎回、4位までに初期奨学金を交付し、表彰します。ただし、これはあくまでも選考会時点での結果であり、9名全員に、都度、マスタークラスや海外渡航のサポートが与えられます。

また、最終審査後には、海外招聘審査員及び日本人選考委員とじっくり時間を取り、演奏と将来に向けてのアドバイスが送られます。



財団の活動 2

マスタークラス、教育企画の実施

福田靖子賞選考会入賞者・入選者に、海外の一流の音楽家と出会う機会を与えるマスタークラスは、世界の第一線で活躍する最高レベルのピアニスト・教授陣をお迎えし、2020年2月までに118回を数えています。

レッスン当日は、受講生が相互に聴講し合う環境を作るとともに、

ピアノ指導者や学習者にも広く学習の機会として開放しています。

また、単に演奏技能を習得するにとどまらず、世界の一線で活躍してきた音楽家たちから、

音への感性、楽譜の細部へのこだわり、幅広い教養、ユニバーサルに通用するお人柄など、

多くのものを受け取ってもらう機会としています。

過去の招聘教授

ダグ・アシャツ、ホーキン・アチュカロ、ディアーヌ・アンデルセン、アルヌルフ・フォン・アルニム、パウル・バドウラ=スコダ、
ヴィンツェンツオ・バルツァーニ、ミシェル・ペロフ、アンドレア・ボナッタ、ヴェロニク・ボンヌカーズ、アレキサンダー・ブラギンスキー、
ルイス・デ・モウラ・カストロ、ミシェル・ダルベルト、アキレス・デル・ヴィーニュ、フランソワ・デュモン、アブデル・ラーマン・エル=バシャ、ガーボル・ファルカシュ、ヤニーナ・フィアルコフスカ、フィリップ・ジュジアーノ、トーマス・ヘル、スタニスラフ・ユデニッチ、クシシュトフ・ヤブウォンスキ、ヤン・イラチェック・フォン・アルニム、チュンモ・カン、フレディ・ケンプ、アレキサンダー・コブリン、リー・カムシン、ガブリエル・クオック、
ロバート・レヴィン、チョンピル・イム、ルイ・ロルティ、アンナ・マリコヴァ、ヴォルフガング・マンツ、ギリアード・ミショリ、オリ・ムストネン、
ウイリアム・ナボレ、ラルフ・ナットケンパー、ジョン・オコーナー、ロナン・オホラ、エンリコ・パーチェ、ピオトル・パレチニ、ジャン=クロード・ペヌティエ、エヴァ・ポプウォツカ、パスカル・ロジエ、イゴール・ローマ、ペーター・レーゼル、ジャック・ルヴィエ、ヘンリ・シーグフリードソン、アンティ・シーララ、アンドレアス・シュタイアー、エリック・タヴァッセルナ、マルティノ・ティリモ、ミハイル・ヴォスクレセンスキ、
ディーナ・ヨッフェ (以上 53 名)

招聘・開催協力

株式会社オーパス・ワン、株式会社河合楽器製作所、株式会社ジャパン・アーツ、株式会社東音企画、桐朋学園大学、トップホール、パシフィック・コンサート・マネジメント、フランツ・リスト国際ピアノコンクール、プロ・アルテ・ムジケ、ヤタベミュージックアソシエイツ、ヤマハ株式会社
※素晴らしいアーティストをご紹介いただきましたことに厚く御礼申し上げます。



教育企画の実施

ピアノ学習の支援に加え、音楽家としてのあり方・生き方を深く見つめ、人間的な成長を促すために、様々な企画や音楽家・専門家との交流の機会を設けています。より高いレベルで、より深く音楽を追究し、プロの音楽家として提示するためには、練習室でひとりピアノを弾いているだけでは済ませません。なぜ私はピアノを弾くのか、音楽家として生きるのか、若いうちからその問いに真正面から向き合ってほしいと願っています。

芸術家・専門家とのワークショップ、レクチャー

「ジャック・ルヴィエ先生と考えるベートーヴェンのソナタ」(2014)

講師：ジャック・ルヴィエ

(ピアニスト、ザルツブルク・モーツアルテウム音楽大学教授)



「ピアニストに必要な脳と身体のトレーニング」(2014)

講師：古屋晋一

(脳科学者、上智大学理工学部准教授(当時))

「あなたの演奏の先にあるもの～ミヒヤエル・ゲース先生と考える」(2015)

講師：ミヒヤエル・ゲース(ピアニスト)

西巻正史(トッパンホール企画制作担当・当財団理事)



「武久源造先生と<ジルバーマン・ピアノ>を弾く」(2016)

講師：武久源造(鍵盤楽器奏者)



「音楽の総合的な学び方」(2018)

講師：ヘンリ・シーグフリードソン

(ピアニスト、エッセン・フォルクヴァング芸術大学教授)



「山田剛史先生と学ぶ J.S. バッハ」(2018)

講師：山田剛史

(ピアニスト、国立音楽大学・東京学芸大学講師)



「オルガンを通してバロック音楽のピアノ演奏を考える」(2019)

講師：松居直美

(オルガニスト、聖徳大学音楽学部教授)



「フェデリコ・コッリと考える<古典>の弾き方・学び方」(2013)

講師：フェデリコ・コッリ

(リーズ国際ピアノコンクール優勝者)



「ボリス・ギルトブルクと考える<ロシアの作曲家たちの心をどう読むか>」(2015)

講師：ボリス・ギルトブルク

(エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者)

「関本昌平と考える楽譜の読み方・伝え方」(2016)

講師：関本昌平

(ショパン国際コンクール入賞、当財団第1回奨学生)



財団の活動 3

海外渡航・国際的な学習機会の

福田靖子賞選考会参加者には、

具体的な海外学習機会（アカデミー・フェスティバル・演奏会への参加、国際コンクールへの参加）に対し、渡航費を補助する形で助成しています。

十代のうちに海外へ出て、多くの素晴らしい音楽家や世界の人々・風景・文化と出会い、視野を広めていただくことを目的としています。

派遣機会の提供においては、

協力団体である一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）の海外在住会員や過去の海外招聘審査員の先生方、マスタークラスの招聘講師などがご協力くださっています。



サポート

国際コンクールや海外学習機会へのアドバイス

当財団では、単に学習機会の参加に関する費用をサポートするだけではなく、より中長期的な視点に立って、学習のアドバイスを行います。

また、国際コンクールや海外学習機会の選定、応募や参加に際してのサポートを、個々の奨学生の状況に応じてカスタマイズして提供します。

音楽学習の進度は、身体的・精神的な成長、学習環境、性格、動機などにより様々です。奨学生一人ひとりが、どのような学習段階にあるかを見極め、密にコミュニケーションを取って、ふさわしい支援を行っていきます。



奨学生の指導者より



関本昌平先生（ピアニスト）

第1回選考会第1位であるとともに、第7回参加沢田蒼梧さん、第8回参加森本隼太さん、第9回参加 神原雅治さん・須藤帆香さんの指導者

奨学金というものを皆さんどのようにお考えでしょうか。ピアノでなくとも、何かを極めるためには多大なお金がかかりますので、奨学金による経済的な援助は本当にありがたいものだと思います。しかし、この福田靖子賞はただの経済的な援助という単純なものではありません。

まずエントリーして書類審査が通ると、選考会で、素晴らしいマスタークラスに加えて、演奏を披露し先生方からアドバイスをいただける機会があります。同世代の同じ志を持つ仲間の演奏や交流から、多くの刺激を受けるでしょう。加えて、生徒たちを参加させて以来、福田靖子賞の継続的な支援の素晴らしさを実感しています。例えば生徒の森本隼太君は、渡航費援助による初めての海外経験、継続的に開催されている海外教授マスタークラスでのハイレベルなレッスンの受講と聴講で興味の幅が広がり、勉強の仕方が変化したことで大きく成長しました。

福田靖子賞基金や隣接するピティナの事務局には、音楽教育の本質を見抜いている素晴らしいスタッフがいます。例えば、事務局長の加藤哲礼さんは、マスタークラスのお世話はもちろんですが、選曲や国際コンクールやセミナーの情報などにも精通しており、これらの準備に関することも指導してくださいます。また、困った時は親身に相談に乗ってくださり、何年か先を見据えた真のアドバイスをいただくことができます。ピアノは、どうしても独りよがりになりがちな楽器ですが、外部での交流や刺激が継続的にあることによって、自身の意識がガラッと変わっていくことが、福田靖子賞基金のサポートの一番の素晴らしさだと思います。



海外招聘教授より



ロナン・オホラ先生（英ギルドホール音楽演劇学校ピアノ科主任教授）

第6回福田靖子賞選考会審査員、当財団マスタークラス招聘 13回（最多）

福田靖子賞選考会は、才能ある若き日本のピアニストの皆さんにとって素晴らしい機会です。福田靖子賞基金のサポートでは、演奏機会という大切な経験と、国際的に著名な指導者によるマスタークラスの機会の両方が与えられ、その後も数多くの支援が受けられますが、若いピアニストたちに対してここまでサポートが提供される場所を私は世界中で他に知りません。この財団の活動を心から賞賛し、推薦いたします。



奨学生からのメッセージ～福田靖子賞



森本隼太さん（第8回第1位、京都教育大学附属桃山中学校）

僕の夢はいつかピアニストになって世界中で演奏をすることです。渡航費助成を受け、海外の先生方のレッスンを受講してみたいと思ったことがきっかけで、福田靖子賞選考会に応募しました。

選考会では今までにない緊張感の中、通訳はありましたが初めて英語でのレッスンを受けました。助言をいただいた内容を理解して最大限に表現しようと僕なりに一生懸命考えて練習し、審査会ではできることを精一杯出し切って演奏しました。僕にとってこの選考会はとても充実し貴重な時間となりました。

福田靖子賞をいただいてからは、マスタークラスに参加し、世界中の素晴らしい教授陣やピアニストの先生方のレッスンを受けています。他の受講生のレッスンも聴講できるのでとても勉強になります。また、ハワイのアロハ国際ピアノフェスティバルやアメリカのクライバーン・ジュニア国際コンクールなどにも参加させていただき、沢山の学びがありました。そこでの経験や地元の方々、同世代のピアニストたちとの交流は、僕にとって一生の宝物となりました。きめ細かいサポートの中、たくさんの体験の場を与えていただけたのは、ピアニストを目指す僕たちにとって最高の環境です。福田靖子賞選考会に参加できて本当に良かったと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも前向きにチャレンジし、大好きなピアノを通して音楽を楽しみ、夢が現実になるように突き進んでいきたいです。



村上智則さん（第8回第3位、東京藝術大学）

私が福田靖子賞選考会に参加させていただいたのは高校3年生のときでした。当時は、海外の先生方のレッスンやマスタークラスを受けて、もっと深く音楽を勉強し、演奏を磨きたいと思っていました。そんな私にとって、福田靖子賞選考会は私が望んでいることが叶う場所でした。

選考会では、3人の海外の一流の先生方の素晴らしいレッスンが受けられるだけでなく、参加者の方々と交流できたこともとても良い刺激になりました。レッスンを聴講したり、演奏を拝聴したりすることで、自分に足りない部分を見つけることができ、自分の演奏を見つめ直す良い機会となりました。同じ志を持つ同世代の方々との出会いは、私にとってかけがえのないものとなっています。選考会後も、福田靖子賞基金から手厚くサポートしていただいている。これまでたくさんの海外の著名な先生方のマスタークラスを受講させていただきました。どのマスタークラスでも、毎回新しい発見があり、先生方から多くのことを学ぶことができ、大変勉強になっています。

この選考会を通して、たくさんの出会いがあり、そして自分の様々な視野を広げることができました。そのきっかけを作ってくださったこの選考会に心から感謝しています。



平間今日志郎さん（第6回・第7回入選、アメリカ・パーク大学音楽学部）

私は第6回、第7回福田靖子賞選考会に参加させて頂きました。他のアカデミーとこの選考会を比較したときの最も素晴らしい点は、選考会終了後も全ての参加者に献身的なサポートをしてくださるということです。

そもそも私が福田靖子賞選考会に参加したかった大きな理由は、3人の著名な先生方のレッスンを受けることができるということでした。将来的に留学したいと考えていた私は多くの先生のレッスンを受けて、「この先生からもっと教わりたい！」と思う先生を探していました。そして、第7回の選考会でスタンislaf・ユデニツチ先生と出会い、先生のもとへ留学することになるのですが、それまでにも第6回終了後から継続的に福田靖子賞基金にサポートしていただき、海外の著名な先生方のレッスンを受ける機会をいただきました。また海外のセミナーを受講する際の渡航費も支援していただきました。

先生との良き出会いやさまざまなサポートを受け、海外へと飛び立つきっかけになる選考会に感謝しています。



選考会に参加して



桑原志織さん（第6回第2位、ドイツ・ベルリン芸術大学）

福田靖子賞選考会で優秀賞（第2位）をいただいた当時のことは、今でも鮮明に覚えています。選考会はピティナ特級ファイナルの翌々日から始まり、正直なところ特級で気力を使い果たした私は、かなり疲れしていました。ところが、選考会で海外の先生方の素晴らしいレッスンを受けるにつれてエネルギーが甦り、入賞へと繋がりました。

その後は福田靖子賞の本領を目の当たりにしていきます。選考会参加者は何年間もの長きに渡り、様々な得難いサポートを受けられます。特に渡航費助成を受け、海外の演奏会や講習会等、国際舞台での経験を積ませていただけることは最高の恩恵です。自ずと世界を意識し、音楽はもちろん、語学や芸術を学ぶ意欲が飛躍的に高まります。世界の一流教授陣による東京でのマスタークラスも毎回感動の連続で、大きな糧となります。その他、海外のトップピアニストや巨匠らと直接交流できるワークショップにも参加でき、国際的なステージを見据えた手厚いサポートが得られるのです。これらの支援に私は心から感謝しています。

応募する際は躊躇もあったのですが、高校3年のときのこの決断が、その後の自分を変えたと断言できます。これから後に続く皆様にも、多くのチャレンジの機会を与えてくださることでしょう。



尾城杏奈さん（第6回入選、東京藝術大学）

私が福田靖子選考会に参加したのは、高校1年生の時です。選考会では、3人の世界的に著名なピアニストや先生からレッスンを受け、その後の審査会で演奏をさせていただけます。そのうえ、奨学金を頂け、その後もサポートしていただけます。当時は、ただただ無我夢中でしたが、今から考えるなんて贊沢なことなのだろうと思います。

私は、その後もずっとマスタークラスを受けさせて頂き、お世話になっています。はじめのうち、マスタークラスは苦手でしたが、素晴らしい海外からの先生のレッスンを受けさせていただくことにより、その曲に少し自信が持てたり、少しずつ音楽の幅が広がってきて、一歩一歩ではありますが音楽への扉を開いているように思います。将来的には、留学したいと考えていますが、その準備段階の私には、マスタークラスはとても貴重な機会です。

福田靖子賞の奨学生になれたお陰で、色々な先生方やスタッフの方に、ずっと温かく厳しく見守って頂いています。このような愛情溢れる素晴らしい環境でお勉強させていただける機会を頂きました。福田靖子賞選考会は、私が音楽の勉強を続けていく大切な節目であり出会いであったと大変感謝しております。



中川真耶加さん（第5回入選、イタリア・イモラ国際ピアノアカデミー）

わたしが福田靖子賞選考会を受けたのは第5回（2011年）で高校3年生のときのことです。数日の集中レッスンの最終日に、レッスン内容を自分なりに消化して本番の舞台に挑むという初めての経験に戸惑いながらも大変貴重な機会であったことを思い出します。

そしてこの福田靖子賞のその後のサポートの素晴らしさに本当に助けられて、これまで長い期間にわたり、数え切れないほどお世話になってきました。巣鴨で行われるピアノマスタークラスでは、世界中の素晴らしい教授陣やピアニストの先生方のレッスンを受ける機会に恵まれました。また、わたしが初めて海外のマスタークラスを受講するきっかけになったのも渡航費のサポートが受けられたからこそ実現出来たと思います。おかげさまでその後も海外の音楽祭やセミナーに積極的に参加して、様々な経験を重ね、現在はイタリアのイモラ国際ピアノアカデミーに留学してさらに視野を広めています。

音楽の勉強は奥が深く、多くの豊かな経験の場、出会いの場が必要にもなってきます。チャレンジしたいことがあっても思うように動けないこともある中、福田靖子賞からの手厚いサポートには、金銭的のみならず精神的にも本当に助けていただき、日々感謝の気持ちでいっぱいです。わたしにとってこの選考会は、音楽を勉強し続けていく上で大きな出会いだったと強く思います。



※所属は 2020年2月現在

過去の奨学生の主な活躍

(順不同、2016年以降、選考会参加以降のみ)

◎亀井聖矢 (2019 福田靖子賞)

第88回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、岩谷賞(聴衆賞)・増沢賞・野村賞・井口賞・河合賞・三宅賞・アルゲリッチ芸術振興財団賞(2019)



◎八木大輔 (2019 第2位)

第7回スポート国際ピアノコンクール第1位(イタリア、2019)

◎神原雅治 (2019 第2位)

第73回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位(2019)

◎中瀬智哉 (2019 第3位)

第73回全日本学生音楽コンクール中学の部全国大会第1位、福田靖子賞(2019)

◎山崎夢叶 (2018 入選)

第4回ソナタコンクール ソナタ全楽章部門第1位(2019)

◎森本隼太 (2017 福田靖子賞)

ピアーネ国際ピアノアカデミーコンクール審査員賞・特別賞・KNS Classical 特別賞(ドイツ、2019)、第42回ピティナ・ピアノコンペティション G級金賞(2018)、第10回アロハ国際ピアノフェスティバルコンクールソロジュニア部門・コンチェルト部門第1位(アメリカ、2018)

◎谷昂登 (2017 第2位)

第1回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際オンラインピアノコンペティション第1位(韓国、2019)、霧島国際音楽祭 霧島国際音楽賞・堤剛音楽監督賞(2017)、茨城国際音楽アカデミー in かさま かさま音楽賞(2017, 2018)

◎片山響 (2017 入選)

第10回ザリオ・マルチアーノ国際ピアノコンクール第2グループ第2位(ウィーン、2018)

◎進藤実優 (2017 入選)

第2回ショパン国際青少年ピアノコンクール第3位(中国・北京、2019)

◎渡邊さくら (2017 入選)

第9回ルチアーノ・ルチアーニ国際ピアノコンクール第3位(イタリア、2019)

◎黒木雪音 (2015 福田靖子賞)

第43回ピティナ・ピアノコンペティション特級銀賞(2019)、第9回岩谷時子賞 Foundation for Youth(2018)、第41回ピティナ・ピアノコンペティション G級金賞(2017)、第10回パリス・ドヴァリヨーナス国際青少年ピアノコンクールグランプリ(リトアニア、2016)



◎古海行子 (2015 福田靖子賞)

第11回バデレフスキ国際ピアノコンクール第3位(ポーランド、2019)、第42回ピティナ・ピアノコンペティション特級銅賞(2018)、第4回高松国際ピアノコンクール第1位(日本、2018)、第20回浜松国際ピアノアカデミーコンクール第2位(日本、2016)、第40回ピティナ・ピアノコンペティション G級金賞、コンチェルトB部門第1位(2016)



◎太田糸音 (2015 入選)

マルタ国際ピアノコンクール第2位(マルタ、2018)、第21回松方ホール音楽賞第1位(2017)、第40回ピティナ・ピアノコンペティション特級銀賞(2016)

◎平間今日志郎 (2013・2015 入選)

第7回仙台国際音楽コンクールピアノ部門第5位(日本、2019)

◎山崎亮汰 (2013 福田靖子賞)

第7回トマス&エボン・クーパー国際コンクールピアノ部門第1位(アメリカ、2016)



2015年以前の主な活躍

小林愛実 (2011 第1位)

第17回ショパン国際ピアノコンクールファイナリスト(ポーランド、2015)

崎谷明弘 (2005 第2位)

ハエン賞国際ピアノコンクール第1位(スペイン、2014)、ブゾニ国際ピアノコンクール第3位(1位なし)(イタリア、2013)

阪田知樹 (2009 第1位)

第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールファイナリスト(アメリカ、2014)

實川風 (2007 第2位)

ロン・ティボー・クレスパン国際コンクールピアノ部門第3位(フランス、2015)

須藤梨菜 (2005 第1位)

第6回ダブリン国際ピアノコンクール第5位(アイルランド、2006)

関本昌平 (2003 第1位)

第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位(ポーランド、2005)

田村響 (2003 第2位)

ロン・ティボー国際コンクールピアノ部門第1位(フランス、2007)

◎桑原志織 (2013 第2位)

第62回ゾーニ国際ピアノコンクール第2位(イタリア、2019)、第68回ヴィオッティ国際音楽コンクールピアノ部門第2位・Soroptimist Club賞(イタリア、2017)、第62回マリア・カルス・バルセロナ国際音楽コンクール第2位(スペイン、2016)



◎小林海都 (2013 第3位)

第22回松方ホール音楽賞第1位(2018)

◎尾崎未空 (2011 第2位)

第15回 MozArte 国際ピアノコンクール第1位・聴衆賞(ドイツ、2019)、第40回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ(2016)

◎佐藤元洋 (2007・2009・2011 入選)

第7回仙台国際音楽コンクールピアノ部門第4位(日本、2019)

◎中川真耶加 (2011 入選)

第13回カンピージョス国際ピアノコンクール第1位(スペイン、2019)

◎久末航 (2011 入選)

第66回ミュンヘン国際音楽コンクール第3位・委嘱作品演奏特別賞(ドイツ、2017)

◎水本明莉 (2011 入選)

第2回バデレフスキ国際ピアノコンクール・イン・ファーミントン第3位(アメリカ、2017)

◎阪田知樹 (2009 福田靖子賞)

フランス・リスト国際ピアノコンクール第1位(ハンガリー、2016)

◎木村友梨香 (2009 第3位)

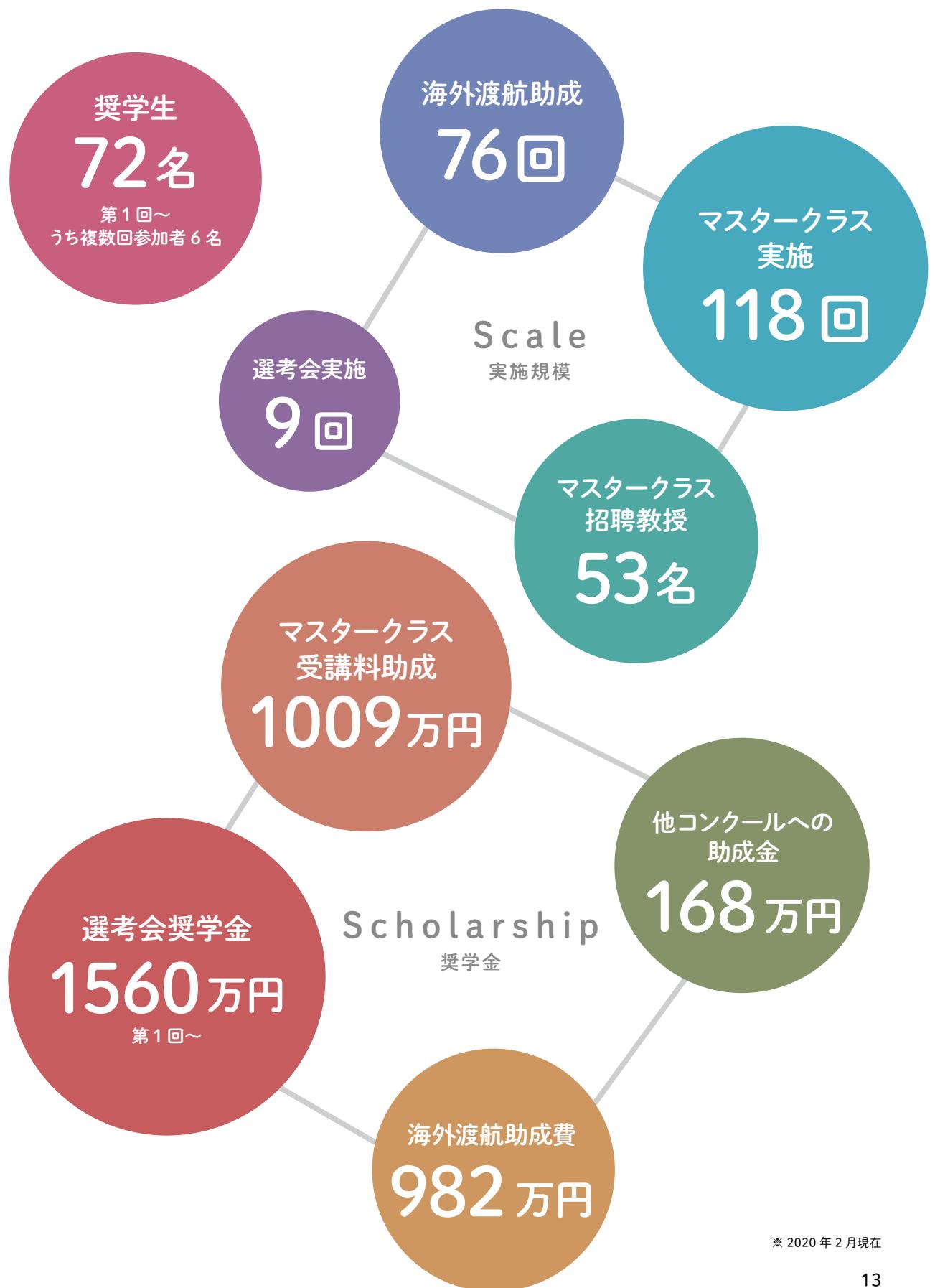
第8回ロザリオ・マルチアーノ国際ピアノコンクールグランプリ(ウェールズ、2016)

◎小塩真愛 (2009 第3位)

第19回マウロ・パオロ・モナリジ国際ピアノコンクール第2位(スペイン、2016)



データで見る福田靖子賞のあゆみ



※ 2020年2月現在

寄付金の使いみち

皆様よりお預かりした寄付金は、当財団奨学生を中心とする若い音楽家・ピアニストの学習支援のために大切に使わせていただいております。

福田靖子賞選考会の奨学金と運営資金

2年に一度行われる「福田靖子賞選考会」で交付される奨学金及び選考会の運営資金（海外教授招聘、会場利用料等）を利用しています。



海外渡航費用のサポート

奨学生が海外でアカデミー・音楽祭・演奏会等へ参加する際の渡航費用、参加費用や滞在費の一部を助成しています。

マスタークラスやワークショップの受講料・交通費サポート

年間を通じて実施している財団主催のマスタークラスの受講料及び遠方の方の交通費の一部を助成しています。



国内での様々な学習機会の受講料サポート

その他、国内での室内楽等の研修機会への参加料・交通費の一部をサポートしています。



ご寄付のお願い

公益財団法人福田靖子賞基金では皆様のご支援・ご寄付を募集しております。

若いピアニストたちが、国内外でさまざまな音楽文化に触れて多くの刺激を受け、自らが音楽・ピアノを勉強する意味をじっくり見つめる経験は、社会に貢献する高い能力と意欲をもったプロフェッショナルな音楽家に育っていくうえで必須のもので、それによって、日本の音楽文化の質を向上させてゆくことは、ピティナ創設者である故・福田靖子の願いでもありました。

若い音楽家への教育企画・マスタークラス等を通じた支援にご賛同いただける方のご篤志をお待ちしております。

<https://www.yf-scholarship.org/p/contribution.html>



公益財団法人福田靖子賞基金 寄付者ご芳名一覧

手厚いご支援に心より御礼申し上げます。
若い音楽家の成長のために大切に使わせていただきます。

寄付金の総計 (2003 ~ 2020)

総額 1 億 103 万円(うち財団化以降 8587 万円)
件数 のべ 440 件 (うち財団化以降 266 件)

個人 132 名

累計 1000 万円以上

齋藤 政子 様

福田 成康 様

匿名希望 1 名

累計 100 万円以上

市川 直子 様

江崎 光世 様

杉浦 日出夫 様

累計 10 万円以上

アレクサンダー 恵子 様

江口 文子 様

遠藤 敬子 様

金子 勝子 様

佐藤 祐子 様※

佐野 幸枝 様

東海林 也令子 様

二宮 裕子 様

播本 枝未子 様

松崎 伶子 様

渡邊 弘子 様

5,000 円以上

愛野 由美子 様

明石 淳代 様

赤松 林太郎 様

秋山 徹也 様

阿久津 佐智 様

阿古江 美樹 様

浅井 千鶴 様

厚地 和之 様

阿部 綾子 様

天本 みどり 様

新垣 尚子 様

飯島 孝子 様

池川 礼子 様

石井 なをみ 様

一色 弘枝 様

伊藤 恵 様

井上 規子 様

岩本 智子 様

上仲 典子 様

漆原 好美 様

遠藤 真枝 様

大神 薫 様

大津山 姿子 様

大林 裕子 様

大嶺 未来 様

奥村 真 様

小倉 郁子 様

尾城 利里子 様

甲斐 環 様

上総 治子 様

勝田 奈穂子 様

上薗 和佳 様

北島 依子 様

楠 雅子 様

久保山 千可子 様

小西 光春 様

近藤 三倭子 様

斎藤 香苗 様

斎藤 健 様

坂井 千春 様

坂入 由美子 様

佐々木 恵子 様※

佐藤 秀佳 様

佐藤 彦大 様

佐藤 美緒 様

仕館 洋子 様

七條 富美 様

末田 優子 様

菅野 恵理子 様

杉本 安子 様※

鈴木 加菜子 様

鈴木 弘尚 様

鷺見 加寿子 様

関本 昌平 様

関本 岬 様

高木 早苗 様

多喜 靖美 様※

滝澤 香織 様

武田 真理 様

武本 弘美 様

田中 順子 様

田中 治郎 様

棚瀬 美鶴恵 様

田渕 進 様

出口 雅子 様

寺山 公美 様

土居 里江 様

富田 有香 様

中井 恒仁 様

中川 京子 様

中島 昌子 様

中田 穂波 様

永田 雅代 様

中田 元子 様

中西 利果子 様

中野 雅子 様

中山 靖子 様

南院 紀子 様※

西川 奈緒美 様

新田 恵理子 様

野田 幸夫 様

長谷川 淳 様

羽原 久美子 様

濱本 愛 様

早坂 優紀 様

林 浩史 様

日野 あゆみ 様

冷水 香織 様

平間 今日志郎 様

福崎 郁代 様

福辺 理英子 様

堀 明久 様

本田 真貴子 様

本多 昌子 様

前田 勇佑 様

松永 由里 様

松本 晃子 様

松本 敦子 様

眞鍋 協子 様

水崎 知実 様

三谷 保乃 様

緑川 真由美 様

三宅 雅子 様※

宮澤 功行 様

三好 芳子 様

森下 富未 様

八木 裕 様

八木 都 様

山内 経子 様

山田 つづみ 様

弓削田 優子 様

若尾 佳代 様

若松 マキ 様

渡邊 寛 様

渡部 由記子 様

2020 年 2 月 20 日時点

団体 10 件

岐阜「音楽をはぐくむ会」様 * 社団法人全日本ピアノ指導者協会 様 株式会社東音企画 様 ピティナ運営委員一同 様 *

ピティナ演奏研究委員会 様 ピティナ指導者育成委員会 様 ピティナ事務局員一同 様 * ピティナ栃木県支部 様

ピティナ名古屋支部文化事業部 様 ピティナ名古屋支部有志 様 *

*印 = 財団化以前のご寄付



公益財団法人福田靖子賞基金

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-15-1 宮田ビル 3F

info@yf-scholarship.org

<https://www.yf-scholarship.org/>